

コンゴ(共)月例報告  
2016年12月

【ポイント】

●15日、ガボンゴ財政・計画・公共資産大臣出席の下、域内国債発行式典が開催された。本国債は、政府が2016年度予算において公約した公共事業を実施するための建設国債、下半期修正予算案における減額分を補填するもの。発行総額は1500億CFAフラン(2.29億ユーロ相当)、5年国債(2016年-21年)、一口10000CFAフラン(約15ユーロ)、年率6.5%。

◎特にソースが明記されていない場合は、「Les Dépêches de Brazzaville」、「ICI BRAZZA」、仏通信(AFP)及び仏ラジオ国際放送局(RFI)による

## 1 内政

### (1)ントウミ牧師側近の逮捕

11月末から12月10日夜にかけて、元民兵組織「ニンジャ」の指導者とされるフレデリック・ビンサム(通称:ントウミ牧師)の側近2名(ジャン＝ギュスタブ・ントンド、ユロジュン・パシ)が逮捕された。

### (2)ブラザビル刑務所囚人への恩赦

31日、禁固刑5年未満の囚人26名に対する恩赦が発表された。出所は1月末予定。

## 2 治安:ブラザビル刑務所における脱走劇

29日、ブラザビル刑務所において、武器を奪取した囚人が脱走を試み、憲兵隊との間で約1時間の銃撃戦となり、3名が死亡、4名が負傷した。

## 3 外政

### (1)二国間関係

#### ア キューバ

3日、キューバにて、サス・ンゲソ大統領はフィデル・カストロ前キューバ評議会議長の追悼集会へ参加。

#### イ トーゴ

13日、ニヤシンベ・トーゴ大統領は、サス・ンゲソ大統領の出身地であるオヨを訪問し、サス・ンゲソ大統領と二国間の友好関係につき協議した。

### (1)多国間関係: 中部アフリカ経済通貨共同体(CEMAC)

23日、ヤウンデにて、サス・ンゲソ大統領はIMF・中部アフリカ経済通貨共同体(CEMAC)首脳会合へ参加し、IMFから構造調整支援を受けることに合意した。

## 4 経済

### (1)世銀による新規借款

7日、ガボンゴ財政・計画・公共資産大臣とンジャイ世銀事務所長は、借款2事業(教育、都市計画)、総額1.9億米ドル(内訳、世銀負担1.1億米ドル。コンゴ(共)負担8千万米ドル)に署名した。

### (2)中部アフリカ域内での国債発行

15日、ガボンゴ財政・計画・公共資産大臣出席の下、域内国債発行式典が開催された。本国債は、政府が2016年度予算において公約した公共事業を実施するための建設国債、下半期修正予算案における減額分を補填するもの。発行総額は1500億CFAフラン(2.29億ユーロ相当)、5年国債(2016年-21年)、一口10000CFAフラン(約15ユーロ)、年率6.5%。

### (3)ショレ水カダム建設計画

28日、ゾニアバ・エネルギー・水力大臣は、アタンガナ・カメルーン同大臣及びムボリ中央アフリカ同大臣とショレ水カダム建設計画(600MW, 5.6億米ドル~11億米ドル)に関する合意議定書に署名した。2017年に実行可能性調査を実施予定。施工は中国系シノ・イドロ社が担当する。

### (4)コンゴ川鉄橋建設計画

12月末、ガボン首都リーブルビルにて開催された中部アフリカ経済通貨共同体(CEMAC)専門家会合において、コンゴ川鉄道道路併用橋建設計画につき協議された。推定事業総額は4億ユーロ(アフリカ開発銀行が2.5億ユーロ、コンゴ両政府1.1億ユーロ、ドナー0.4億ユーロ)。工事開始は2017年末から2018年年初の予定。